



ナッツ類アレルギーについて

今回は、国立病院機構相模原病院と行っている共同研究について紹介させていただきます。

最近、食物アレルギーの原因として、ナッツ類(特にクルミ、カシューナッツ)のアレルギーが増えている、というニュースをご覧になっている方もいると思います。ピーナッツアレルギーよりも増加傾向にあるくらいですので、2023年4月から特定原材料表示が『クルミ』が追加される予定です。今後カシューナッツも特定原材料表示に追加される可能性があります。



食物アレルギーの検査として、血液検査をよく行いますが、ここ数年クルミとカシューナッツについてはアレルギーコンポーネントといって、特定のタンパク質を検査することで診断性能はかなり上がりました。さらに診断性能があがるようなアレルギーコンポーネントはないか、他のナッツ類(マカダミアナッツやヘーゼルナッツなど)で有用なアレルギーコンポーネントはないか、といったより良い検査の開発が進んでおり、その一端として今回の研究が計画されました。

「給食にナッツ出ないですよね」「日頃食べないので大丈夫です」といわれる保護者の方もおられますが、お菓子やパン、ドレッシングなどに含まれることが多く、また外食などの場合でも様々なものに含まれています。またコロナでの外出制限が少なくなってきた昨今、海外旅行などに行かれる方も増えたかと思いますが、海外のた

べものにはナッツ類が多く含まれていることがあります。また、ナッツ類は栄養価の高い食品です。ナッツ類には身体によ



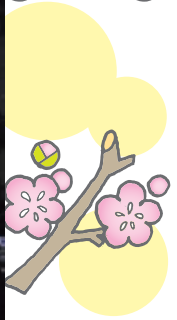
い作用を持つといわれる不飽和脂肪酸という脂質が含まれています。また、ビタミンやミネラルなどを豊富に含むものもあります。ナッツ類などは、『なんとなく心配だから食べさせていない』と言って除去されている方も多いかと思います。何かに食物アレルギーがあるから、とか、ピーナッツアレルギーがあるからと、ナッツ類をまとめて怖がる必要は必ずしもありません。またクルミはだめでも、カシューナッツ・ピスタチオ、アーモンドは大丈夫ということもあります。きちんと調べたら(血液検査だけでなく、食物経口負荷試験などで)、こわくて食べていなかったけれど本当は食べられたということも少なくありません。栄養価の高い食べ物であり、接する機会の多い食べ物でもあるので、本当にアレルギーかどうかはきちんと確認して、不必要な除去は避けたいところです。

今回の研究では、ナッツ類(クルミ、カシューナッツ、マカダミア、アーモンド)の採血・負荷試験をおこなっていただいた患者様が対象となりますので、該当する方にはお声かけさせていただきます。ぜひご協力いただけますと幸いです。(アレルギー科小児科 高瀬 貴文)



やまばとギャラリー 情報コーナー information

2月といえば節分。ということで、今月の作品は「おに」です。牛乳パックやペットボトルなどを使用し、患者さんと一緒に一生懸命作りました。おにの表情や着ている服もさまざま、個性豊かで素敵な作品たちができました。是非やまばとギャラリーへ足を運んでご覧ください。次回の展示作品もお楽しみに！



(児童指導員 森 日奈子)